



まきび連携だより

H28 年度
第3号

発行：まきび学校支援地域本部 総務班

事業所参観日

事業所の方をお招きして「事業所参観日」を行いました。

今年度は、福祉サービス系と就労系に分けて、10月31日（月）と11月2日（水）の2日間行いました。併せて120名以上の方が参加されました。事業所の方々の本校に対する期待の大きさを感じて、身の引き締まる思いがしました。

福祉サービス系事業所参観日（10月31日）

福祉サービス系の参観日は、今年度初の取り組みです。

知的障害部門（小学部・中学部・高等部）と肢体不自由部門の概要について、それぞれ説明したのち、校内の様子（児童生徒の様子・教室環境等）を見学していただきました。12時を過ぎても、熱心に給食の様子を参観される姿も見られました。福祉の側からも教育に歩み寄ってくださっていることを感じました。今後も、児童生徒の健やかな成長のために、さらに福祉と教育との連携を深めていきたいと思ひます。



就労系事業所参観日（11月 2日）

就労系の参観日は、開校2年目から始まり、今年度で2回目です。

今年度は、倉敷スクールタイガー縫製株式会社代表取締役 吉井 一成 様 を講師にお迎えしてお話をしていただきました。

その中で、「本校の卒業生が、毎朝、気持ちの良い挨拶をしてくれるので、それが職場内に良い雰囲気を作り出して、挨拶の輪が広がっている」というお話をいただきました。

生徒会を中心に、校内で実践している「あいさつ運動」が、よい成果を生んでいるのがわかり、嬉しく感じました。

また、「ある障害のある社員から『障害は個性』ということを言われて、なるほど...と感じた」というお話も心に残りました。

『個性』は誰にでもあるもの。特別なものではありません。『個性』を理解し、認め合い、支え合える社会、学校、職場にしていきたいと思ひました。

参加された企業の方が、アンケートに「特別支援学校を卒業され就職された方は、本当に安定されており、安心して雇用させていただいています。今後も学校と企業との連携を継続し、太いパイプにしていきたいと考えています」と記入してくださっていて、とても嬉しく思ひました。

